

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第12回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成23年1月14日(金) 午後2時00分～午後3時20分	場所	木津川市役所全員協議会室
出席者 (出席者…■ 欠席者…□)	<p>委員</p> <p>【学識経験者】 ■中川 大委員(副会長・議長)、■大庭哲治委員</p> <p>【市民代表】 □永松迪哉委員、□田中英治委員、■森岡宣之委員、■鶴岡由雄委員 ■坂本利正委員、■中岡武司委員、■竹澤哲之委員</p> <p>【事業者】 ■竹並秩男委員 ※代理：高橋和也(西日本旅客鉄道株式会社大阪支社企画課主席)、■小林智彦委員 ※代理：山下裕人(近畿日本鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部営業企画部)、■川邊経恭委員 ※代理：大久保篤士(奈良交通株式会社乗合バス事業本部課長) ■津田秀夫委員、□菅沼道和委員、■筒井基好委員 ※代理：木戸 昇(城南タクシー株式会社取締役)、■武田忠和委員、■加藤 隆委員 ■小森義一委員、■佃 寿己委員 ※代理 松石康志(奈良交通労働組合執行委員)、■吉川益弘委員</p> <p>【行政機関】 ■西川孝秀委員、■足立高広委員、□梅坂 浩委員、■稲垣勝彦委員 ※代理：衣川貴雄(京都府山城広域振興局企画総務部企画振興室主事) □久保伊佐男委員、■今井一郎委員 □河井規子委員(会長)、□今井洋一委員 ■炭谷育夫委員 ※代理 山口正勝(木津川市建設部理事)</p>		
事務局	鈴木市長公室長、尾崎理事学研企画課長事務取扱、坂元係長、西村主任		
傍聴者	1人		
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 副会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>①地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について</p> <p>②国道163号改良工事によるバス路線の変更について</p> <p>③椿井大塚山古墳バス停の移設について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①実証運行の利用状況について</p> <p>②平成23年3月のダイヤ改正について</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法廷協議会の日程について</p> <p>②その他</p> <p>4. 閉会</p>		

会議結果要旨

1. 開会

事務局より開会を宣言した。

2. 副会長あいさつ

中川副会長より、開会にあたりあいさつがあった。

3. 議事

議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として、小森義一委員を指名した。

(1) 協議事項

①地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について

「No. 1 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について」「No. 2 連携計画・総合事業計画の流れと評価実施の位置づけ」「No. 3 「地域公共交通利用促進事業」の実施状況」「No. 6 木津・加茂・山城地域コミュニティバスの利用実態について」「参考資料 きづがわ公共交通だより (Vol. 26～29)」「参考資料 観光シーズンに向けた取り組みでのペーパーファン」「参考資料 バス・エコファミリーチャシ」を用いて、今年度事業の取り組み及び利用実態について説明するとともに、今年度事業の事後評価について提案し、指摘のあった箇所について修正し、事務局対応で近畿運輸局へ提出することとなった。

また、「No. 1 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について」の6ページ右側上段の、「二次評価に係るの事業実施状況」から「二次評価に係る事業実施状況」へ訂正をお願いした。

②国道163号改良工事によるバス路線の変更について

③椿井大塚山古墳バス停の移設について

「No. 4 国道163号改良工事によるバス路線の変更について(案)」「No. 5 椿井大塚山古墳バス停の移設について(案)」を用いて、バス路線の変更及びバス停移設について提案し承認頂いた。詳細については、警察と調整して進めることとなった。

(2) 報告事項

①実証運行の利用状況について

「(1) 協議事項 ①地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について」において、報告した。

②平成23年3月のダイヤ改正について

「参考資料 平成23年春JR西日本ダイヤ改正について」を用いて、JR西日本のダイヤ改正に係る木津川市への影響について報告した。

(3) その他

①次回法定協議会の日程について

日程を調整する旨を説明した。

②その他

	<p>オブザーバーである近畿運輸局企画観光部 杉本交通企画課長補佐から、国土交通省平成 23 年度予算概算要求及び新規制度について概略説明があった。</p> <p>4. 閉会 中川副会長より、閉会にあたりあいさつがあった。</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開 会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 副会長あいさつ 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 議 事 (1) 協議事項 ①地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ No. 1 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について ・ No. 2 連携計画・総合事業計画の流れと評価実施の位置づけ ・ No. 3 「地域公共交通利用促進事業」の実施状況 ・ No. 6 木津・加茂・山城地域コミュニティバスの利用実態について ・ 参考資料 きづがわ公共交通だより (Vol. 26～29) ・ 参考資料 観光シーズンに向けた取り組みでのペーパーファン ・ 参考資料 バス・エコファミリーチャリン <p>【主な意見・質疑等】 (○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料 No.1 P.3 で、木津川市観光協会副会長との表記があるが、誤っているのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 社団法人木津川観光協会理事長と修正する。 ○ 資料「No.1 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について」のタイトルにある初年度・2年度目とは、平成 21 年度・平成 22 年度という意味か。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 様式が、初年度と 2 年度目は同じ様式を使用するため、併記されている。本市での取り組みは 2 年目であり、平成 22 年度の取り組みについて記載している。 ○ 昨年度の二次評価においても、公共交通だよりを毎月発行するなど、良い評価を頂いている。しかし、これだけの利用促進に取り組む一方で、利用者数は伸びていないという現状もある。公共交通だより発行する中で、市民からの意見等は何かあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共交通だよりへの直接的な意見は、現状では聞いていない。しかし、市民生活に直結する運賃値上げの際には、限定プリペイドカード等の問い合わせが多くあった。また、当尾地域の花の読み方が間違えているといった指摘も頂いており、ある一定数の市民には読んで頂いていると考えられる。

- 限定プリペイドカード販売終了後の影響は、何かあったか。
 - ▶ 昨年と一昨年の同時期に実施した OD 調査結果をとりまとめ、運賃値上げの影響分析を行いたい。しかし、限定プリペイドカードの詳細については、奈良交通において限定プリペイドカード発売前後の比較調査をしているため、その調査結果を用いて分析等を実施する予定である。
- 限定プリペイドカードの利用率は約3割と考えている。限定プリペイドカードの発行枚数は、5,356枚である。それから考えると、概ね4,000枚程度が使用済と考えられる。1日800人の利用で、限定プリペイドカード使用率が3割と仮定すると、あと3ヶ月で全ての限定プリペイドカードが使い切られると思われる。そのため、本格的に値上げの影響が出てくるのは、春以降になると考えている。
- 山城の利用者数が月当たりでは伸びているが、日当たりでは減少しているが、この理由は何かあるのか。
 - ▶ 1ヶ月あたりの運行している平日日数の違いによるものだと考えられる。
- 様々な施策の影響により減少している路線もあるが、加茂地域のコミュニティバスでは伸びている路線もある。伸び率としては僅かかもしれないが、数パーセントでも伸びているというのは、努力の成果である。
- 公共交通だよりにおいて、様々なイベントの情報提供する等、毎月発行していることはとても評価できる。しかし、紙の色と文字の色とがとても読みづらい。少し工夫することにより、高齢者にとっても読みやすいものとなる。
 - ▶ 今後の読みやすい紙面作りのご意見として頂いておく。
- 加茂地域（当尾線以外）のコミュニティバスについて、利用者から運転手へのクレーム・意見等の把握・収集を行ったことはあるか。聞いている範囲では、利用者の要望と路線とにミスマッチがあり使いづらいと聞いている。
 - ▶ 要望と路線のミスマッチについては、利用者からは銭司線について1件聞いている。現在の銭司線は、恭仁大橋を渡った後に、銭司への最短経路である直進をせず、恭仁宮跡を経由したあと、国道163号を通り終点の銭司に到るルートである。そのため、国道163号の南側にある旧道を運行できないかとの意見を聞いている。路線開設時から同様の意見を聞いているが、時間帯によっては一方通行になる影響もあり、現在の路線に決定している。今後の加茂地域の見直しにあわせて、路線見直しについては検討をする。
また、加茂駅では乗客が早くから待っているため、バスに早く乗せて欲しい、冷房をもっと効かせて欲しいといった、運行上の要望も運行事業者を通じて聞いている。
- 山城線の要望について良く聞く意見に、「バスをもう少し小型化できないか。」「山城線は行きと帰りとの経路が異なるため、何とかならないのか。」がある。また、運行時間が、利用実態とダイヤが異なっている。例えば、アスピーアに9時に着きたいと思っても、その時間に間に合うバスはない。ワークショップでも様々な意見が出てくると思うが、検討して頂ければと思う。今回参加するメンバーは、

大部分が山城線に乗車したことがないので、良い経験になると思う。2月のワークショップは非常に楽しみにしている。

- きのとつバスの乗車人数は、約2割減少したと説明があった。限定プリペイドカードの影響もあり正確な予測は出来ないかもしれないが、きのとつバス運賃収入の予想はどのようになると想定しているのか。赤字が解消されたようなニュアンスの説明があったが、その根拠について説明して頂きたい。
- ▶ 限定プリペイドカード等もあるため正確な予測は出来ないが、収入は今年の1.4倍程度になると予想している。去年は約3,300万円の運賃収入があり、今年はその1.4倍の約4,600万円の運賃収入を想定している。また、経費がこれまで約1億円だったものが、約9,000万円になっているため、運行経費に対する運賃収入の率は、33%から50%程度に近づくと思われ、改善されてくると予想している。

②国道163号改良工事によるバス路線の変更について

③椿井大塚山古墳バス停の移設について

【配布資料】

- ・No.4 国道163号改良工事によるバス路線の変更について（案）
- ・No.5 椿井大塚山古墳バス停の移設について（案）

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

- 東行きの井平尾バス停は、今よりも少し離れたところになるのか。
- ▶ 既存の東行きのバス停は、バスベイがなかった。しかし、今回の改良工事により、交差点の西側にバスベイが設置されたため、そこにバス停を移動したいと考えている。

- バス停の移設については、交通安全上の観点からも、木津警察交通課に来て頂くようお願いしたい。
- ▶ 国道163号改良工事については、京都府山城南土木事務所が工事主体となるため、山城南土木事務所が協議を進めている。バスベイが設置されれば、バスベイ設置位置が最も安全になるため、そこにバス停を移設したい。
また、椿井大塚山古墳バス停については、年末と今月の2回、木津警察を訪問し、バス停の移設について相談したところである。地元にも、バス停移設の相談を行い、了承済みである。また、本日欠席の山城土木事務所にも事前に資料を送付し、理解を得ている。

- 椿井大塚山古墳バス停は、現在の位置よりも移設後の位置の方が、バス停から古墳が見え最適な場所である。

- 椿井大塚山古墳バス停は、近くに横断歩道がないが仕方ないのか。
- ▶ バス停の西側には、田んぼが広がっており、道路横断の利用はほとんどないため、現状では、この辺りには横断歩道は設置されていない。

- 運転手の方には、十分に注意して頂くよう、お願いしたい。
- ▶ バス停の変更・移設については、詳細については警察と調整して進めていく。

	<p>(2) 報告事項</p> <p>①実証運行の利用状況について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>②平成23年3月のダイヤ改正について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>【主な意見・質疑等】 (○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バスダイヤ改正のスケジュールはどうなっているのか。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ JRのダイヤについては、素案ではあるが奈良交通に情報提供をされ、現在、駅における列車の到着時間を拾う作業中と聞いている。2月上旬には、バスダイヤの素案が出てくると考えている。 ○ 奈良交通では、ダイヤ改正の準備をしているところである。基本的には、JRのダイヤ改正日である3月12日の前後のダイヤ改正を予定している。そのためには、約1ヶ月前には申請する必要があるため、2月上旬もしくは、遅くても2月中旬にはダイヤ案を作成する。 <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>②その他 会議結果要旨のとおり。</p> <p>4. 閉会 会議結果要旨のとおり。</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>
<p>その他 特記事項</p>	